

安否を気遣う

上海。森家。ある日の早朝、中国の青海省でマグニチュード5の地震が起きる。緑が家族を送り出して朝食の片づけをしていると、日本にいる母親から電話がかかってくる。

緑の母：ねえ、中国で地震があったって。大丈夫？

緑：ああ、朝の。うちのほうは大丈夫だよ。

健太郎も子供たちもいつもどおり出かけたし。

緑の母：そうなの。よかったー。テレビで見たらマグニチュード5っていうでしょう。お父さんと心配してたの。

緑：(テレビに目をやって) こっちのニュースでもやってる。大きい土砂崩れがあったみたい。

あんまり被害が大きくなるといいけど…。

緑の母：津波は大丈夫なの？ 上海は海が近いんでしょう？

緑：まあねえ。でも、青海省は上海からすごく離れてるし、内陸なの。津波は大丈夫よ。

緑の母：そうなの？ ならいいけど…。こっちは地震といたら津波だから。この間もチリの地震で、津波警報が出て、大騒ぎだったの。

緑：えっ、そうだったの。それっていつの話？

緑の母：先週末よ。日曜日。

緑：えー、全然知らなかった。

緑の母：お母さん、その日友達に会いに鎌倉に出かけてたの。そしたら、津波警報で何時間も電車が止まっちゃって。大変だったのよ。

緑：被害はどうだったの？

緑の母：うん。結局予想よりも波が低かったみたいよ。

緑：よかったじゃない。

緑の母：上海は地震が少ないっていうけど、徹平と瑛士には、いざという時のこと、ちゃんと教えておくのよ。

緑：分かってる。

緑の母：じゃあ、もう切るわね。健太郎さんによろしく。

緑：うん。電話ありがとう。じゃあね。



新出語彙1

あんび (安否) [名] 安危, 平安与否

きづかう (気遣う) [動1他] 担心, 惦念, 牵挂

せいがいしょう (青海省) [专] 青海省

マグニチュード [名] 里氏, 震级

どしゃくずれ (土砂崩れ) [名] 塌陷, 塌方

ないりく (内陸) [名] 内陆

チリ [专] 智利

けいほう (警報) [名] 警报

おおさわぎ (大騒ぎ) [名] 大混乱, 大吵大闹

かまくら (鎌倉) [专] 鎌倉

なみ (波) [名] 波, 波浪

いざ [副] 一旦

めをやる (目をやる) 看过去

いざというとき (いざという時) 紧急的时候, 紧急时刻

おお 大~ 大~



“~だよ” 体现出的人际关系

緑の母亲挂念着女儿的安全, 问到: “ねえ, 中国で地震があったって。大丈夫?” 对此, 绿回答: “うちのほうは大丈夫だよ。” 在这种情况下, 回答母亲问话的表达方式还有 “うちのほうは大丈夫” “うちのほうは大丈夫よ”, 作为女性的说话方式, 都比 “うちのほうは大丈夫だよ” 更为普遍。但是, 从 “大丈夫だよ” 能够感受到郑重地把 “こちらは心配ない” 这样的确定信息传达给对方的意图, 用上升语调说出来, 能够看出绿和她母亲的关系很亲密。

地震と津波

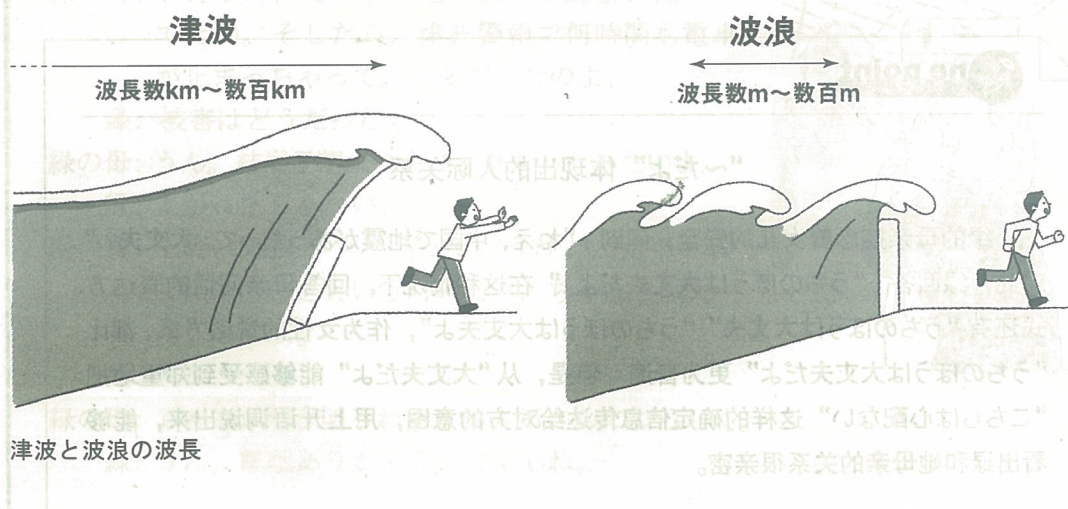
2011年3月11日、日本は未曾有の大地震に見舞われた。

東北地方の三陸沖の海底を震源とする^{マグニチュード}M9という日本国内観測史上最大規模の地震が発生し、それに連動して、周辺の海底でM7以上の大きな2つの地震が発生した。震源域（地盤の岩石が破壊された範囲）は、東北地方の岩手県沖から関東地方の茨城県沖までの、長さ500 km、幅200 kmの広範囲にわたり、震源域では余震が多発した。大地震と、それに伴って発生した巨大津波は、東日本の沿岸部を中心に壊滅的な被害をもたらしたのみならず、原子力発電所の事故を誘発するなどし、世界に大きな衝撃を与えた。

この「東日本大震災」による死者・行方不明者は、地震発生後6か月の時点で20,000人近くに達したが、その被害の多くは津波によるものだと考えられている。

津波は、そのほとんどが海底で大きな地震が起きた時に発生する。地震により海底地盤が破壊され、大規模な地殻変動が起こる。それに伴い、海水が押し上げられて上下動し、海面の水位の変動が周囲に拡大していき、津波となる。

下の図のように、一般的な波（波浪）は、波長が数m～数百mだが、津波は、波長が数km～数百kmと長く、海底から海面までの水がまるごと移動するため、巨大な塊となって沿岸に押し寄せる。しかも、勢いが衰えず、連続して押し寄せ、陸上の家屋などを破壊しながら内陸まで一気に駆け上がる。また、津波が引く時も、とても強い力で引き続けるため、破壊した家屋などを海中に引き込んでしまう。こうして津波が去った後は、町や村は原形をとどめないほどに風景が変わってしまう。



島国である日本は、昔から、地震と津波の被害を受けてきた。特に、東北地方では、数十年から百年ごとに大きな地震が発生し、そのたびに、沿岸地域は津波に襲われ、多くの犠牲者が出ている。1896年に発生した「明治三陸地震」による津波は、内陸に到達した時の海水面からの高さは最大38.2 mに及び、22,000人も犠牲者を出した。また、10世紀以上さかのぼった869年には「貞観地震」と呼ばれる震災が起き、内陸の奥深くまで津波が達して大きな被害をもたらしていたことが、古い文献に記されている。今回の「東日本大震災」を引き起こした地震は、その震源域が「貞観地震」と類似する点も指摘されており、1,000年に1度の大地震だったのではないかと考えられている。

過去の教訓から、沿岸部の地域では、高い堤防を築いたり、住民の避難訓練を重ねたりするなど、さまざまな対策を講じてきた。「東日本大震災」でも、地震発生直後に、津波警報が発令され、いち早く高台に避難した人々は九死に一生を得ることができた。しかし、津波は、高さ10 mもある堤防を軽々と乗り越えて川を遡上し、次々と家や車や船を飲み込み、町を破壊していった。海水面からの高さは、最大40.5 mにも達していたという。この光景を目の当たりにしただれもが、予測をはるかに超える規模の巨大津波であったことを実感したはずだ。

繰り返し津波による被害を受けてきたにも関わらず、この地域の人々は沿岸部で生活を営んできた。それは、津波の恐ろしさを承知しながらも、海の恵みによって生計を立てることを選んだからなのかもしれない。そして、いつの時でも、それが復興のエネルギーとなってきたのではないだろうか。「東日本大震災」の被害は想像を絶するほど甚大であり、実態を把握するだけでも長い時間がかかるだろう。しかし、これまでそうしてきたように、被災地は必ず復興するに違いない。

地震はいつどこで起こるか分からない。中国では、2008年5月12日に、M8の「四川大地震」が発生し、多くの住宅が倒壊したり、山崩れが起きたりするなど、死者・行方不明者は、およそ90,000人に上ったといわれている。そして、2010年4月14日、中国では青海省南部が地震に見舞われ、再び大きな被害と多くの犠牲者が出た。内陸部と沿岸部では地震による被害は異なる。しかし、言えることは、地震や津波は、一瞬にして数多くの人命と生活基盤のすべてを奪ってしまうということだ。

「天災は忘れたころにやってくる」という言葉がある。天災ばかりは防ぎようがない。わたしたちができることは、いざという時にどう行動すべきかなどについて、普段から備えておくことぐらいのものだ。「備えあれば憂いなし」という言葉もあるように。

地震に対する備え

○地震が起こった時の行動を身に付けておく。

- 室内にいる時に地震が起きたら、丈夫な机やテーブルなどの下に潜り、それらの脚をしっかりと握る。
- 屋外にいる時に地震が起きたら、ブロック塀や石塀、電柱や自動販売機など、倒れる危険性のあるものから離れる。
- 海岸地域では、地震が起きたら津波の危険があるので、車を使わずになるべく高い所へすぐに避難する。
- がれきやガラスの破片などが散乱しているので、裸足で歩かない。

○常に家に、飲料水や食料、薬、ラジオ、防寒具など、避難生活に必要なものを用意しておく。

新出語彙2

みぞう (未曾有) [名] 从未有过, 未曾有	へんどう (変動) [名・サ変自] 变动, 变化, 波动
みまう (見舞う) [动1他] 遭受; 探望	おしあげる (押し上げる) [动2他]
しんげんいき (震源域) [名] 震源区	推上去, 顶上去
じばん (地盤) [名] 地壳, 地基; 地盘	じょうげどうする (上下動~) [名・サ变自]
がんせき (岩石) [名] 岩石	上下运动
いわて (岩手) [专] 岩手	ずい (水位) [名] 水位
かんとう (関東) [专] 关东	いっぱんてき (一般的) [形2] 一般的
いばらき (茨城) [专] 茨城	はろう (波浪) [名] 波浪
はば (幅) [名] 宽	はちょう (波長) [名] 波长
こうばんい (広範囲) [名] 范围广大	まるごと [副] 整个儿, 整体
よしん (余震) [名] 余震	いきおい (勢い) [名] 势力, 势头
たはつする (多発~) [名・サ变自] 频发	りくじょう (陸上) [名] 陆地上
ひがしにほん (東日本) [名] 东日本	かけあがる (駆け上がる) [动1自] 冲上, 跑上
かいめつてき (壊滅的) [形2] 毁灭的	かいちゅう (海中) [名] 海中, 海里
げんじりょく (原子力) [名] 原子能, 核能	ひきこむ (引き込む) [动1他] 拉进来, 拽入
はつでんしょ (発電所) [名] 发电站	げんけい (原形) [名] 原形, 原貌
ゆうはつする (誘発~) [名・サ变他] 诱发	とどめる [动2他] 存留, 保留, 遗留
ゆくえ (行方) [名] 去向, 下落, 行踪	めいじさんりくじしん (明治三陸地震) [专]
たつする (達~) [サ变自] 达, 达到	明治三陸地震
ちかく (地殻) [名] 地壳	かいすいめん (海水面) [名] 海平面

じょうがんじしん (貞観地震) [专] 贞观地震	なるべく [副] 尽量
しんさい (震災) [名] 地震灾害	がれき [名] 瓦砾
おくふかい (奥深い) [形1] 深, 深邃; 深远	はへん (破片) [名] 碎片
ぶんけん (文献) [名] 文献	いんりょうすい (飲料水) [名] 饮用水
しるす (記す) [动1他] 记载	ぼうかんぐ (防寒具) [名] 御寒用品
ひきおこす (引き起こす) [动1他] 引起	げんけいをとどめない (原形をとどめない)
るいじする (類似~) [名・サ变自] 相似, 类似	没有留下原貌的痕迹
きょうくん (教訓) [名] 教训	きゆうしにいっしょうをえる (九死に一生を得る)
ていぼう (堤防) [名] 堤	身处绝境而奇迹般地脱险
はつれいする (発令~) [名・サ变他] 发布命令	まのあたりにする (目の当たりにする) 目睹
いちばやく (いち早く) [副] 很快地, 迅速地	せいかつをいとなむ (生活を営む) 维持生活
かるがると (軽々) [副] 轻松地, 轻易地	せいけいをたてる (生計を立てる) 谋生
そじょうする (溯上~) [名・サ变自他] 溯流而上	そうぞうをぜつする (想像を絶する) 超出想像
のみこむ (飲み込む) [动1他]	てんさいはわすれたころにやってくる (天災は)
呑下, 咽下; 理解, 领会	忘れたころにやってくる)
いとなむ (営む) [动1他]	営 (生), 办 (事业); 经营
めぐみ (恵み) [名] 恩泽	そなえあればうれいなし (備えあれば憂いなし)
せいけい (生計) [名] 生计	有备无患
ぜつする (絶~) [サ变自他] 超绝	
じつたい (実態) [名] 实际状况	
はあくする (把握~) [名・サ变他] 掌握	
シセン (四川) [专] 四川	
じゅうたく (住宅) [名] 住宅	
とうかいする (倒壊~) [名・サ变自] 倒塌	
やまくずれ (山崩れ) [名] 山体崩塌	
じんめい (人命) [名] 人命	
きばん (基盤) [名] 基础	
うばう (奪う) [动1他] 夺去, 失去; 抢夺	
てんさい (天災) [名] 天災	
そなえ (備え) [名] 准备, 预备	
うれい (憂い) [名] 忧愁, 痛苦, 苦闷	
しつない (室内) [名] 室内, 屋里	
ブロックべい (~塀) [名] 砖墙	
いしべい (石塀) [名] 石墙	
でんちゅう (電柱) [名] 电线杆	

解説

1. 课文特点 [说明文]

本课是一篇说明文(□高级第1课)。

■ 2011年3月11日,日本は未曾有の₂大地震に見舞われた。

2. 大地震に見舞われる

“見舞う”除了“病人を見舞う(探望病人)”这种用法以外,还有“パンチを見舞う(遭受拳击)”这样的用法,意思是“使对方遭受到不良影响”。“地震に見舞われる”属于后一种用法。

▶ 50年ぶりの豪雨に見舞われて,多くの被害が出た。
(遭受50年一遇的暴雨,造成了大量灾害。)

▶ 今年は日照不足に見舞われたため,作物の成長が心配されている。
(由于今年受到日照不足的影响,人们都很担心庄稼的生长情况。)

■ この「東日本大震災」による死者・₃行方不明者は,地震発生後6か月の時点で20,000人近く₄に達したが,その被害の多くは津波によるものだと考えられている。

■ 中国では,2008年5月12日に,M8の「四川大地震」が発生し,…死者・₃行方不明者は,およそ90,000人₄に上ったといわれている。

3. 行方

“行方”读作“ゆくえ”,意思相当于“去向”“行踪”,主要用于书面语。“行方不明者”指“失去消息、不知道是否平安的人”。此外,“行き来(来去,来往)”既读作“いきき”也读作“ゆきき”。“いく”和“ゆく”的意思都相当于“去”,但是“いく”倾向于口语,而“ゆく”倾向于书面语。て形“行って”和た形“行った”分别读作“いって”“いった”,而不读作“ゆって”“ゆった”。

- ▶ 警察は犯人の行方を必死で探している。(警察正在拼命查找犯人的下落。)
- ▶ 駅前の商店街は,人の行き来が多い。(车站前的商业街人来人往。)

4. ~に達する/~に上る [数值表达方式]

“~に達する”和“~に上る”都是说明数值的表达方式,表示说话人对该数值的评价,“~”部分使用表示数值或数量的词。“~に達する”的意思是“该数值或数量达到了一定的地步或级别”,“~に上る”的意思是“作为结果该数量是一个较大的数值”。

在提示数值X时,有如下一些表达方式可以表示说话人对该数值的评价。

说话人评价	表达方式
认为数值X很大	~に達する/~に上る/~に及ぶ(□高级第5课)
认为数值X很小	~にすぎない(□中级第30课)/~にとどまる/わずか~

- ▶ 行方不明者は約20,000人に上ったといわれている。(据说失踪人员已上升到大约2万人。)
 - ▶ この国の失業率は3%にすぎない。(这个国家的失业率不过才3%。)
- “20,000人に上った”表示把2万人作为一个较大的数值来看待;“3%にすぎない”表示把3%作为一个较小的数值来看待。

■ 地震により海底地盤が破壊され,大規模な地殻変動が起こる。それに伴い,海水が押し上げられて上下動し,海面の水位の変動が周囲に拡大していき,津波₅となる。

5. ~となる

与“~になる”(□初级第18课)相同,“名词+となる”表示状态发生了改变。比较而言,“~となる”更接近书面语。需要注意的是,“となる”不能前接二类形容词。

- ▶ 卵からふ化したオタマジャクシは,成長して,やがてカエルとなる。
(从卵中孵化出来的蝌蚪经过发育成长,最后成为青蛙。)
- ▶ このコースの3kmまではゆるやかな上りが続くが,その後はゴールまで下りとなる。
(这条线路直到3千米以前都是连续缓慢的上坡路,但是之后直到终点是下坡路。)

■ 海底から海面までの水が,まるごと移動するため,巨大な塊となって沿岸に押し寄せる。

6. まるごと

- “まるごと”意思是“不做分割或部分删除,全部照原样”。
- ▶ ニンニクをまるごと揚げる。(油炸整蒜。)
- ▶ 大きな月餅を切らずにまるごと食べてみたい。
(想尝试把大大的月饼不切开整个儿吃下去。)

7. 押し寄せる

“动词ます形去掉‘ます’+寄せる”表示动作集中于某一点。“寄せる”前接大幅度动作的动词,除了“押し寄せる”外,还有“打ち寄せる(冲过来,迫近)”“引き寄せる(拉近,吸引)”“手繰り寄せる(拉上来,拽上来)”。“水が押し寄せる”的意思是水像推挤似地压迫过来。

- ▶ 浜辺で漁師たちが,綱を引いて船を手繰り寄せている。
(渔民们在海边正拽着缆绳把船拉过来。)
- ▶ 海岸に打ち寄せられた流木を使って家具を作る。(使用被冲上海岸的漂流木材制作家具。)

■ しかも,勢いが衰えず,連続して押し寄せ,陸上の家屋などを破壊しながら内陸まで一気に,駆け上がる。

8. ~ず [书面语]

“~ず”是书面语,意思与“~ないで”(□初级第29课)相同,使用“动词ない形去

掉‘ない’+ず”的形式。サ变动词在后续“ず”时“する”变成“せず”的形式，直接接在词干后面。

动词の種類		ない形去掉“ない”+ず	～ず
一类动词		行かない +ず	行かず
二类动词		食べない +ず	食べず
三类动词	カ变动词	来ない +ず	来ず
	サ变动词	勉強する +せず	勉強せず

而“～ず”是古代日语的否定形式，现在只用于句子中间，不能用于句尾。有时还使用“～ずに”的形式（□□初级第39课）。

- ▶ 昨日から何も**食べず**寝てばかりいる。(从昨天开始什么都不吃，一直在睡。)
- ▶ 全く**勉強せず**に試験を受けるなんてどうかしている。
(完全没学习就去参加考试，真是脑子进水了。)

9. 駆け上がる

“駆け上がる”由“駆ける+上がる”构成，意思是“跑着向上方移动”。由于通常是意志性动作，所以动作者为人或动物等。课文中是比喻的用法，动作者为无生命的海水。把无生命的物体作为动作者的表达方式还有“風がささやく（风儿轻声细语）”等。

- ▶ 心地よい**風がささやく**ように森を吹き抜けていった。
(和煦的风儿轻声细语般地吹过森林。)
- ▶ 空で星がまたたいている。(星星在夜空中眨着眼睛。)

■ 町や村は、10 原形をとどめないほどに風景が変わってしまう。

10. 原形をとどめない

“とどめる”有两个意思：①表示“使运动着的東西停下来”；②表示“在后面留下痕迹”。课文中是②的用法。“原形をとどめない”的意思是“没有留下原貌的痕迹”，表示发生了剧烈变化以至于辨认不出原貌。

- ▶ すてきな骨董品があったので、つい足をとどめて見入ってしまった。〔①〕
(由于有一件非常漂亮的古董，我不由得驻足凝视。)
- ▶ 埼玉県にある川越は、江戸時代の名残をとどめている町である。〔②〕
(位于埼玉县的川越是一个保留有江户时代风貌的城镇。)

■ 内陸に到達した時の海水面からの高さは、11 最大38.2 mに及び、22,000人も犠牲者を出した。

11. 最大38.2 m

日语中有像“高さは最大38.2 m(最高达38.2米)”这样，在数值之前加上表示规模、高

度、距离及时间的词语以表示程度规模的表达方式，如“^{さいだい}最大”“^{さいしょう}最小”“^{さいこう}最高”“^{さいてい}最低”“^{さいちゆう}最長”“^{さいたん}最短”“^{へいきん}平均”等等。有时还会加上助词“で”，成为“最大で38.2 m”“最長で20時間”“平均で75点”这样的形式。

- ▶ 新しく建てた家のローンを返済するには**最低30年**はかかる。
(新盖的房子，要还清银行的按揭最低也得要30年。)
- ▶ 「和諧号」は、北京と上海を、**最短4時間48分**で結ぶ。
(“和谐号”高铁从北京到上海最快只要4小时48分钟。)
- ▶ 今年の賃上げは**平均7,000円**だった。(今年的加薪平均每人每月7000日元。)

■ 地震発生直後に、津波警報が発令され、12 いち早く高台に避難した人々は13 九死に一生を得ることができた。

12. いち早く

- “いち早く”是“率先”“立刻”“先人一步”的意思。
- ▶ この会社は、日本の企業の中で**いち早く**年俸制を取り入れた会社だ。
(这家公司是日本的企中最早实行年薪制的公司。)
- ▶ 事件が起こると、その刑事は、いつでも**いち早く**現場に駆けつける。
(每当发生案件，这位刑警总是最早赶到案发现场。)

13. 九死に一生を得る

“九死に一生を得る”表示“身处绝境而奇迹般地脱险”的意思，与汉语“九死一生”相比，更侧重于强调“最终生还”。另外，“九死に一生”不可以单独使用。

- ▶ 先月、息子は、登山に行き、道を間違えて遭難した。しかし、2日後に無事救出され、**九死に一生を得た。**

(上个月我儿子去登山，因为迷路而遭遇危险。但两天后获救，捡了一条命。)

相似的表达方式还有“一命を取り留める(保住了一条命)”，用于因事故或疾病而有生命危险的人经过手术或治疗生命得到挽救。

- ▶ その日、彼女は交通事故に遭って重傷を負ったが、幸い**一命は取り留めた。**
(那天，她遭遇交通事故身受重伤，幸运的是保住了一条命。)

■ この光景を、14 目の当たりにしただれもが、15 予測をはるかに15 超える規模の巨大津波であったことを実感したはずだ。

■ 「東日本大震災」の被害は、15 想像を絶するほど甚大であり、実態を把握するだけでも長い時間がかかるだろう。

14. 目の当たりにする

“目の当たり”意思是“眼前”“目前”。“^ま目の当たりに”的形式表示“某种事态发生在眼前”。以“^ま目の当たりにする”的形式使用的较多，表示“直接看到”。多用于人们较少能

看到的灾难或事故情况。

- ▶ 娘は、交通事故を目の当たりにして、しばらくショックで寝込んでしまった。
(我女儿亲眼目睹了交通事故，由于心理受到刺激而病倒了。)
- ▶ ライオンがシマウマを捕まえて食べる様子を目の当たりにして、改めて自然界の厳しさを実感した。
(亲眼见到了狮子捕猎并吃掉斑马的一幕，真切地体会到自然界的严酷。)

15. “予測を超える” “想像を絶する”

“超える”是“超过某项基准或数值”的意思。它的前面除了可以是具体的数字之外，还可以是“予測”“限界(极限)”等。

- ▶ いつになったら避難命令は解除されるのか。住民の不满はもう限界を超えている。
(避难命令不知何时才能解除，居民们的不满已经超过了极限。)

“絶する”是“远远超过”的意思，一般前接“想像”及“言語”等词语，构成“想像を絶する(超乎想象)”“言語に絶する(无法用语言形容)”等惯用形式。多表示负面的含义。

- ▶ 津波に襲われた地域の様子は、全く言語に絶する状況だ。
(遭海啸袭击地区的惨状，根本无法用语言形容。)

■この地域の人々は沿岸部で、¹⁶生活を営んできた。それは、津波の恐ろしさを承知しながらも、¹⁷海の恵みによって、¹⁸生計を立てることを選んだからなのかもしれない。

16. “生活を営む” “生計を立てる”

“営む”的意思是①不懈地努力，②经营，并以①“生活を営む(维持生活)”，②“居酒屋を営む(经营小酒馆)”“理髪店を営む(经营理发店)”等形式使用。

- ▶ この小説の主人公は平凡な生活を営む40代の会社員だ。〔①〕
(这部小说的主人公是一个过着平凡生活的40多岁的公司职员。)
- ▶ わたしの叔父は横浜で工務店を営んでいる。〔②〕
(我叔叔在横浜经营一家建筑公司。)

“生計”是“维生的手段、方法”之意，以“～によって/～で生計を立てる”的形式使用。“～”处一般是“漁業”“農業”“文筆業(写作)”“運送業(运输业)”等表示职业的词语。

- ▶ いくら文章がうまいといっても、文筆業で生計を立てるのは簡単なことではない。
(就算文章写得好，要想以写作为生也不是件简单的事。)
- ▶ リストラされ、現在、わたしはアルバイトによって生計を立てている。
(我遭了解雇，现在以打工维持生计。)

17. 海の恵み

“海の恵み(大海的馈赠)”是指从海洋捕捞的鱼类、贝类等水产资源。“海の幸(海

产)”一词也是差不多的意思。但课文中的“海の恵みによって”除了上文指出的“收获产品”的直接含义之外，还表示“加工、流通等与水产业有关的工作”，或“充分利用钓鱼、海水浴场等作为消闲观光资源的大海”这样的含义。

与“海の幸”一词相对应，通过狩猎得来的鸟兽或采自山里的山菜、蘑菇等称作“山の幸”。当人们说“山の恵み”时，则包含了林业及天然水、温泉等资源。

- ▶ 日本は、山が多い小さな島国ですが、山の幸も海の幸も豊富です。
(日本是一个多山的小小的岛国，但来自山与海的大自然的馈赠十分丰富。)

■内陸部と沿岸部では地震による被害は異なる。しかし、言えることは、地震や津波は、¹⁸一瞬にして数多くの人命と生活基盤のすべてを奪ってしまうということだ。

18. 一瞬にして

“一瞬にして”的意思是“一瞬间”“眨眼间”。“～にして”的意思是“在……”“以……”，前接特定的名词起强调作用。

- ▶ 彼女は5歳にしてピアニストとしてデビューした。
(她在5岁时就作为钢琴演奏者初登舞台了。)
- ▶ バイオリンを始めると、たちまちにしてコンクールに入賞してしまった。
(一开始练习小提琴，很快就在比赛上获了奖。)

第一个例句中的“5歳にして”换成“5歳で”也是同样的意思，但使用“5歳にして”含有强调年龄非常幼小这样的语气。第二个例句即使单用“たちまち”也表示“很快”的意思，但通过使用“たちまちにして”，更强调了时间的短暂。

■天災¹⁹ばかりは防ぎ²⁰ようがない。

19. ～ばかりは

“ばかり”(□初级第36课，中级第9课)表示限定，以“～ばかりは”的形式前接名词，表示“别的且不论，就只……”的意思。是一个表示强调的形式，这种说法较旧，书面语色彩浓厚。

- ▶ そういう事情なら、今回ばかりは許してあげよう。
(要是有你说的那样的情形，我这次就原谅你。下不为例。)
- ▶ 乗っていた飛行機のエンジンから煙が出ているのが見えた。その時ばかりはわたしの人生もう終わったと観念した。
(看到自己乘坐的飞机引擎正在冒烟，我当时就绝望了：这下小命可要交代了。)
- ▶ 普段、死んだ父のことは思い出さないことが多いが、命日である今日ばかりは、思い出さずにはいられない。
(平日里很少想起死去的父亲，但在他忌日的今天，却不由得怀念起他来。)

20. ～(よ)うがない

“动词ます形去掉‘ます’+(よ)うがない”“サ变动词词干+の+しようがない”意思是“虽然想那样,但是做不到”。“手をつける”“連絡をする”等带有助词“を”的,需把“を”改为“の”,如“手のつけようがない(无从下手)”“連絡のしようがない(无法取得联系)”。

- ▶ 彼は怒ると手のつけようがない。(他一生起气来,那可谁都对付不了。)
- ▶ 住所も電話番号も知らないのだから、連絡のしようがない。
(因为住址和电话号码都不知道,所以没有办法联系。)

■わたしたちができる²¹ことは、いざという時にどう行動すべきかなどについて、普段から備えておくこと²¹ぐらいのものだ。

21. ～ことは～ぐらいのものだ

“～ことは～ぐらいのものだ”用于举出具体的例子来说明其程度。“～ぐらい”表示程度(□初級第13課)，“～ものだ”表示其性质(□中級第2課)。

- ▶ 子供が大学を受験する時に親ができることは、子供が体調を崩さないように食事の内容に気をつけてやることぐらいのものだ。
(孩子高考时,家长所能做的充其量不过是安排好饮食,别让孩子身体出问题而已。)

■海岸地域では、地震が起きたら津波の危険があるので、車を使わずに²²なるべく高い所へすぐに避難する。

22. なるべく

“なるべく”是副词,表示“如果可能的话希望那样做”“希望如此”。在口语中还有时用“なるだけ”。

- ▶ 運動不足解消のために、なるべく駅まで歩いたほうがいいでしょう。
(为了解决运动不足的问题,你还是尽可能步行走到车站的好。)
- ▶ 夜は雨が降るそうだから、なるべく早く帰ってきなさい。
(说是今天晚上要下雨,你争取早点儿回家吧!)



関連語彙

●「～ず」の形の言葉

主要用作副词的

- 知らず知らず(不知不觉)
 - ▶ 昨日の夜、1人でテレビを見ていて、知らず知らず眠ってしまった。
(昨晚一个人看电视,不知不觉就睡过去了。)
- すかさず(立刻,马上)
 - ▶ わたしが小言を言うと、娘はすかさず言い返してくる。
(我一训斥女儿,她立刻就顶嘴。)
- 少なからず(很多,不少)
 - ▶ 田中先生が胃がんで入院したと聞くと、生徒たちは少なからず驚いたようだった。
(听说田中老师因胃癌住院了,学生们都十分吃惊。)
- なりふり構わず(不顾一切)
 - ▶ わたしを大学に行かせるために、母はなりふり構わず働いた。
(为了供我上大学,妈妈不顾一切地干活。)
- 肌身離さず(不离身)
 - ▶ 母は、死んだ愛犬の写真を肌身離さず持っている。
(我妈妈把死去的爱犬照片整天带在身上。)
- やむをえず(不得已)
 - ▶ 学費を稼ぐために、やむをえずアルバイトをしている。
(为了挣出学费,我不得已出去打工。)

主要做名词(或二类形容词)使用的

- 命知らず(不怕死,不要命)
 - ▶ サハラ砂漠を歩いて横断するなんて、なんて命知らずなんだろう。
(徒步穿越撒哈拉沙漠,他真是不要命了。)
- 世間知らず(不通世故)
 - ▶ うちの息子は世間知らずで困る。(我儿子不通世故,让人担心。)
- どっちつかず(模棱两可)
 - ▶ 彼は賛成でもなければ反対でもないというどっちつかずの態度をとり続けている。
(他一直是不赞成也不反对,采取模棱两可的态度。)

●鳴かず飛ばず (不出头露面, 不声不响)

▶ その俳優は10年間鳴かず飛ばずだったが, 最近, 突然ドラマの主演に抜てきされた。
(这位演员10年来一直默默无闻, 最近突然被选拔为电视剧的主演。)

●見ず知らず (陌生)

▶ 故郷を離れ, 見ず知らずの土地で生活することに, 彼は不安を感じた。
(对于离开故土到陌生地方生活, 他内心充满了不安。)

●向こう見ず (顾前不顾后, 莽撞)

▶ 李さんは十分な準備もしないでフルマラソンに出場して, 心臓発作を起こした。
こんな向こう見ずな行動はやめるべきだ。(老李没做好充分的准备就参加了全程马拉松, 结果心脏病发作了。他做事如此莽撞, 真该改一改了。)

作为惯用语使用的

●初心忘るべからず (勿忘初衷)

▶ 張君, 最近, 新人のころよりミスが多いんじゃないの?
(小张! 你最近怎么回事? 比刚来时出的闪失还多。)
——すみません。「初心忘るべからず」を肝に銘じて, 仕事に取り組んでいきたいと思えます。(对不起! 我以后一定要牢记“勿忘初衷”, 好好工作。)

●立つ鳥跡を濁さず (应当做好善后工作)

▶ [在公园赏樱花以后清理现场时] 木の下に大きなごみ袋が残っていたけど, 置いたの
だれ? 「立つ鳥跡を濁さず」って言うじゃない。きれいにして帰りましょうよ。
(树底下还有一大包垃圾, 是谁放那儿的? 俗话说“别让别人替你擦屁股”, 收拾干净了再走。)

●百聞は一見に如かず (百闻不如一见)

▶ 写真を何枚見ても富士山のすばらしさは伝わらない。百聞は一見に如かずで, 見に行
ったほうがいい。
(看多少照片也体会不出富士山之美。俗话说“百闻不如一见”, 你还是亲眼去看看的好。)

新出語彙3

- びょうにん (病人) [名] 病人
- パンチ [名] 拳击; 打孔机
- にっしょう (日照) [名] 日照
- さくもつ (作物) [名] 庄稼, 作物
- いきき/ゆきき (行き来) [名・サ変自]
- ひっし (必死) [名・形2] 拼命, 拼死
- しつぎょう (失業) [名・サ変自] 失业
- ふかする (ふ化~) [名・サ変自他] 孵化
- オタマジャクシ [名] 蝌蚪
- カエル [名] 青蛙
- ゆるやか [形2] 缓慢, 缓和
- うちよせる (打ち寄せる) [动2自]
- ひきよせる (引き寄せる) [动2他] 拉近, 吸引
- たぐりよせる (手繰り寄せる) [动2他]
- はまべ (浜辺) [名] 海边, 湖滨
- つな (綱) [名] 缆绳
- りゅうぼく (流木) [名] 漂流的木材
- こちよい (心地よい) [形1] 爽快, 畅快
- ささやく [动1他] 轻声细语, 低声私语
- ふきぬげる (吹き抜ける) [动2自] 刮过, 穿过
- またたく [动1自] 闪烁, 摇曳; 眨眼
- みいる (見入る) [动1自他] 凝视
- かわごえ (川越) [专] 川越
- なごり (名残) [名] 遗迹, 痕迹, 残余; 惜别
- さいちょう (最長) [名] 最长
- さいたん (最短) [名] 最短
- ローン [名] 借款, 贷款
- へんさいする (返済~) [名・サ変他]
- わかいごう (和諧号) [专] 和谐号
- ちんあげ (賃上げ) [名] 加薪, 增薪
- ねんぼうせい (年俸制) [名] 年薪制
- けいじ (刑事) [名] 刑警
- かけつける (駆けつける) [动2自]
- そうなんする (遭難~) [名・サ変自]
- きゅうしゅつする (救出~) [名・サ変他] 救出
- いちめい (一命) [名] 命, 一命
- とりとめる (取り留める) [动2他] 保住
- じゅうしょう (重傷) [名] 重伤
- おう (負う) [动1他] 遭受, 蒙受
- ショック [名] 刺激, 打击; 冲击
- ライオン [名] 狮子
- シマウマ [名] 斑马
- きびしさ (厳しさ) [名] 严酷
- げんかい (限界) [名] 极限, 限度; 范围, 界限
- めいれい (命令) [名・サ変他] 命令
- かいじよする (解除~) [名・サ変他] 解除
- りはつてん (理髪店) [名] 理发店
- こうむてん (工務店) [名] 建筑公司
- ぶんびつぎょう (文筆業) [名]
- うんそうぎょう (運送業) [名] 运输业
- うみのさち (海の幸) [名] 海产, 海味
- やまのさち (山の幸) [名] 山中土产, 山珍
- たちまち [副] 很快, 立刻; 忽然, 突然
- なるたけ [副] 尽量
- どうかしている 够呛, 反常, 不正常
- いちめいをとりとめる (一命を取り留める)
- げんごにぜつする (言語に絶する)
- てをつける (手をつける) 动手, 着手
- ~界 ~界

練習

1. 本文を読んで以下の質問に答えなさい。

- (1) 本文に合うように、番号を並べなさい。
 ①津波の恐ろしさを知りながらも、東北地方の人々は沿岸部で生活を営んできた。
 ②自然災害に対しては普段からの備えが大切である。
 ③津波は連続して押し寄せ、引く時も強い力で引き続ける。
 ④日本は島国なので、昔から、地震と津波の影響を受けてきた。
 ⑤「四川大地震」では、住宅の倒壊や山崩れなどで、死者・行方不明者が大勢出た。
 ⑥「東日本大震災」の被害の多くは津波によるものだと考えられている。
 () → () → () → () → () → ()
- (2) 「東日本大震災」をもたらした地震の規模を表す内容を本文から2か所抜き出さなさい。
 (3) 海底で地震が起きた時、海水はどのようにして津波になりますか。
 (4) 津波に襲われると、町や村はどのようにになりますか。
 (5) 「天災ばかりは防ぎようがない」(p153, 29行目)のはなぜですか。本文から抜き出さなさい。

2. 適切なほうを選びなさい。

- (1) ヘビは、目の前の大きなカエルを1匹(全部・まるごと)飲み込んだ。
 (2) 若者は360段の階段を(一気に・一瞬に)駆け上がった。
 (3) 先端技術を身に(付けよう・入りたい)と、単身アメリカに渡った。
 (4) 医者(の父(ならでは・からすれば)), 息子にも医者になってほしかったのだろう。
 (5) 荷物が重過ぎて(持ち上げられず・持ち上げないで), 思わず足の上に落としそうになった。

3. □ から適切な表現を選び、() に入れなさい。

- (1) 水も燃料もなければ、お湯の沸かし() ではないか。
 (2) 言えることは、今すぐ対策を講じなければ温暖化は止められない()。
 (3) 祖母はとても元気で、病気といってもたまたまに風邪を引く()。
 (4) 万が一の場合に、どう行動() など、普段から考えておこう。

ということだ ぐらいのものだ ようがない すべきか

- (5) 入園料は高校生以上は1人200円。(), 国民の祝日と都民の日は無料とする。
 (6) わたしは20社も入社試験を受けた。(), 1社も受からなかった。
 (7) 彼は難しいと言われる名門大学ばかり受験した。(), そのすべてに合格した。
 (8) 本日ご要望の資料を送付いたしました。ご確認ください。(), 見積もりについては、後日送付いたします。

しかも ただし しかし また

4. () に当てはまる言葉を □ から選び、必要があれば適切な形に変えて書きなさい。

- (1) 戦災により、世界遺産の多くは原形を() ほどに破壊された。
 (2) 世界新記録にあと0.3秒(), くやしい思いをした。
 (3) 大雪でこちらからも行けず、向こうからも(), 座談会は中止となった。

及ぶ 来る とどめる

5. 録音を聞いて、質問に答えなさい。

南米チリの鉱山で起きた落盤事故で、地下700mの狭い避難所に閉じ込められた33人の作業員の救出は、開始から22時間半経った日本時間の午前9時57分に、最後の1人となるルイス・ウルスアさん(54歳)が、地上に引き上げられ、完了しました。救出の完了に、家族や救出チームの人たちは、抱き合ったり拍手したりして喜び合いました。

- (1) ()
 (2) ()
 (3) ()
 (4) ()
 (5) ルイス・ウルスアさんは _____
 (6) _____

困難も^①()が、支援のおかげで^②()ことができました。^③()皆さんに感謝します。そして、二度と^④()事故が起きないように^⑤()です。

6. 下線部を替えて、録音を聞きながら会話の練習をなさい。

- (1) 甲: ねえ、ニュースで見たんだけど、中国で地震があったんだって?
 乙: ああ、朝の?うちのほうは大丈夫だよ。
 甲: なら、いいけど。心配したのよ。
 ①新聞/そちら/昨日
 ②電光板/上海のほう/お昼ごろ
 ③インターネット/北海道/今朝
- (2) (同僚同士の会話)
 甲: 昨日夜中に地震があっただろう。いざという時のために、何か用意してある?
 乙: まあ、水くらいかな。
 ①おととい、近くで火事があった/うん、全然
 ②昨日、津波警報が出た/うん、一応はね。でも、いざとなると慌てちゃうね
 ③先週、集中豪雨で注意報が出た/まだ、何も。だけど、考えとかなくちゃね

- (3) 甲: じゃあ、長くなるから、もう切るわね。良太郎さんによろしく。
乙: うん、電話ありがとう。じゃあね。
①そろそろ出かける時間だ/真佐子さん
②あなたも忙しそうだ/洋平ちゃんたち
③また、メールする/ご主人

7. 下線部を適切な形に直しなさい。

- (1) なんだか空が曇ってきましたね。今にも雨が降りますよ。
(2) 携帯電話はすでに生活必需品としている。
(3) 場合によっては、国内よりむしろ海外旅行のほうが安く行った。
(4) 短期間にこれほど発展した企業は世界でもそう少ないだろう。
(5) 希望者がこんなに大勢いるとは思った。
(6) オーロラは珍しい光の現象ではあるが、何もここに限ったことだ。
(7) せめて1度くらいはチャンピオンだ。

8. 本文を参考に、次の中国語文を日本語に翻訳しなさい。

近来、在高速公路上由于事故而停在路上的车辆被后车撞上，致使人员死亡的事故在增加。高速公路上发生事故时，(司机等)必须取出发烟警报器或事故警示标志，自己呆到行车线以外的地方。天灾无可防范，而事故则是人祸。有句话说“有备无患”，一旦发生问题的时候应该如何采取行动，以及平日应该预先做好何种准备，是需要我们思考的。

<关键词>

后车(後続車) 发烟警报器(発煙筒) 取出警示标志(事故表示マークを出す)
行车线(走行車線) 无可防范(防ぎようがない) 人祸(人災)
一旦发生问题的时候(いざという時)

新出語彙4

- たんしん (单身) [名] 单身, 只身, 一个人
ねんりょう (燃料) [名] 燃料
とみん (都民) [名] 东京都市民
せんさい (戦災) [名] 战争灾难
おおゆき (大雪) [名] 大雪
むこう (向こう) [名] 对方; 对面
ざだんかい (座谈会) [名] 座谈会
なんべい (南米) [名] 南美
こうざん (鉱山) [名] 矿山
らくばん (落盤) [名] 冒顶, 塌方
ちか (地下) [名] 地下
とじこめる (閉じ込める) [动2他] 关在里面
ルイス・ウルスア [专] 路易斯·乌尔苏亚
ひきあげる (引き上げる) [动2他] 拉上来, 提起来
だきあう (抱き合う) [动1他] 互相拥抱
よろこびあう (喜び合う) [动1他] 相互表达喜悦
でんこうけいじばん (電光掲示板) [名] 电光显示板
ちゅういほう (注意報) [名] 警报
りょうたろう (良太郎) [专] 良太郎
まさこ (真佐子) [专] 真佐子
ようへい (洋平) [专] 洋平
ひつじゅひん (必需品) [名] 必需品
オーロラ [名] 极光
なにも (何も) [副] 并(不), (不)必
チャンピオン [名] 冠军
こうぞくしゃ (後続車) [名] 跟在后面的车辆
はつえんとう (発煙筒) [名] 发烟警报器
そうこう (走行) [名・サ变自] 行车, 行驶
しゃせん (車線) [名] 车道
じんさい (人災) [名] 人祸, 人灾

【聴解】

- ほる (掘る) [动1他] 挖, 挖掘
くっさく (掘削) [名・サ变他] 挖掘
ドリル [名] 钻, 钢钻
かこく (過酷) [形2] 严酷; 残酷
ペルー [专] 秘魯
カナダ [专] 加拿大
きんりん (近隣) [名] 近邻, 邻近
はんにようする (搬入~) [名・サ变他] 搬入
キャンプむら (~村) [名] 宿营地
みまもる (見守る) [动1他] 守护; 注视
い (意) [名] 心意, 心情; 意思, 意义
~役 任务, 工作; 职务

~段 ~級; ~层
短~ 短~